

## 小学校における福祉教育のあり方をさぐる

### I 研究の内容

#### 1 研究の方法と内容

- (1) 各校の福祉教育の実践報告，または計画報告を行い，学び合う。
- (2) 山梨小学校と聾学校の交流授業実践を通して，研究を深める。
- (3) 聴覚障害・手話学習会を行い，福祉について理解を深める。

### II 成果と課題

#### 1 成果

- ・他校の実践に学び，自校に生かすことができた。
- ・山梨小学校と聾学校の交流授業実践を行い，福祉教育のあり方について理解を深めることができた。
- ・聴覚障害・手話学習会を行い，知識や体験が増え，実践に生かせることができた。

#### 2 課題

- ・実践報告は限界があるので，授業作りの研究をしていく方がよい。
- ・担当学年の総合的な学習の計画に福祉教育が設定されていない等，研究授業ができない場合は，模擬授業をして，検証していくこともよい。
- ・テーマ・分野をしばって研究していくこともよい。

### III 成果物

#### 1 各校の実践（計画）

##### (1) 八幡小学校の実践

ア. グループに分かれ，調べ，まとめた。

- ・目の不自由な人のことに関わる内容（点字，盲導犬，盲学校など）
- ・耳の不自由な人のことに関わる内容（手話，聾学校など）
- ・体の不自由な人のことに関わる内容（車いす，義足など）
- ・ボランティアに関わる内容（お年寄りのこと，施設など）

イ. 目の不自由な人，体の不自由な人から福祉講話を聞いた。

ウ. 車いす・アイマスク体験をした。

エ. 「レーナ・マリア物語」「クイールは盲導犬になった」等を使い，障害者の存在を知らせ，理解を深めた。

オ. 福祉講話をしてくれた方との再会を喜ぶ会に取り組んだ。また，盲導犬とふれ合った。

カ. 車いすバスケットを体験した。

##### (2) 塩山北小学校の計画

ア. 「耳の不自由な人とともに」をテーマに学習する。

- ・VTRを視聴する。
- ・ふれあい集会を開く。
- ・個人やグループで，計画に従って調べ，まとめる。

イ. 「目の不自由な人とともに」をテーマに学習する。

ウ. 「耳・目の不自由な人にやさしい塩山地区にしよう」をテーマに学習する。

##### (3) 井尻小学校の実践

ア. 福祉講話（目・耳の不自由な人の生活・車いす生活・車いすバスケット等について）を実施した。

イ. 白い杖・アイマスク体験と介助体験をした。

- ウ. 「マザーテレサ」のビデオを視聴し、貧しさと命について学習した。
  - エ. ひかり長屋に訪問し、お年寄りとおふれあい、人とのつながりの大切さを学んだ。
  - オ. ころ柿を作り、鈴の宮寮、光風園にプレゼントした。
  - カ. もみの木園と交流した。
  - (4) 奥野田小学校の実践
    - ア. グループに分かれ、調べ学習や福祉施設（勝沼授産園、盲学校、光風園）の見学・交流をした。
    - イ. 「お年寄りを理解し、よいふれあいをしよう」をテーマに学習した。
      - ・ふれあい集会や光風園訪問でお年寄りと交流した。
      - ・高齢者疑似体験をした。
      - ・「よりよいお年寄りとのふれあい（支援・接し方等）」を考え、計画を立て、実行した。
    - ウ. 「オトちゃんルール」（乙武洋匡）を題材に、障害者について理解を深めた。
    - エ. 星野富弘さんの本を紹介し、障害をもっている人でも様々な分野で活躍している人がいることを知り、子どもたちなりに考えをもたせ、学習した。
    - オ. 福祉講話を聞き、障害を抱えている人の思いを知り、理解を深めた。
  - (5) 松里小学校の実践
    - ア. 年下の子に喜んでもらえることや、役に立つことを考え、実践した。
    - イ. 手話や手話歌に挑戦した。
    - ウ. 鈴の宮寮に訪問し、障害をもっている人と交流活動をした。
    - エ. 高齢者に喜んでもらえることや、役に立つことを考え、実践した。
  - (6) 菱山小学校の実践
    - ア. 福祉講話を聞き、視覚障害者の生活の様子を知り、自分に何ができるかを考え、実践しようとする気持ちをもたせる学習をした。
      - ・福祉講話日より等で、目の不自由な人の工夫や道案内のしかた、盲導犬について学習した。
      - ・アイマスク体験をした。
      - ・お礼の手紙を送った。返事も返ってきて、交流ができた。
    - イ. 勝沼ナーシングセンターに訪問し、お年寄りとおふれあい、接し方を学んだ。
- 2 山梨小学校と聾学校の交流授業実践
- (1) 「交流カローリング大会をしよう」（6 学年）
    - ア. ねらい
      - ・聾学校の友だちと一緒に楽しくカローリングをすることができる。
      - ・聾学校の友だちのことを理解することができる。
      - ・班で協力し、進んで活動できる。
    - イ. 学習展開
      - ・はじめの会
      - ・聾学校の友だちのクイズ
      - ・カローリング大会
      - ・終わりの会
  - (2) 1 学年の交流
    - ア. 万力公園で一緒に遊ぶ交流
    - イ. 水泳の授業
    - ウ. 持久走大会試走・秋さがし
  - (3) 5 学年の交流
    - ア. 居住地校 1 日交流
    - イ. 陸上・水泳の授業
    - ウ. 持久走大会試走・持久走大会
    - エ. 音楽発表会練習・音楽発表会
    - オ. ふれあい祭り

(部長 三森敏彦)